

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 20 日 (2022.9.20)

【公開番号】特開 2020-72470 (P2020-72470A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2019-166874 (P2019-166874)

【国際特許分類】

H 0 4 W 7 6 / 1 9 (2018.01)

H 0 4 W 8 4 / 1 0 (2009.01)

H 0 4 M 1 / 0 0 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 7 6 / 1 9

H 0 4 W 8 4 / 1 0 1 1 0

H 0 4 M 1 / 0 0 U

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 9 日 (2022.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置と W i - F i で無線通信を行うための第 1 無線通信手段と、前記情報処理装置と W i - F i と異なる通信方式で無線通信を行うための第 2 無線通信手段を備える端末のコンピュータに制御方法を実行させるためのプログラムであって、

前記制御方法は、

前記無線通信手段での無線接続を行うための無線接続情報を前記第 2 無線通信手段により前記情報処理装置から取得する取得工程と、

前記取得工程で取得した前記無線接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間で前記第 1 無線通信手段での無線接続を行う第一の接続工程と、

前記取得工程で取得した前記無線接続情報を記憶する記憶工程と、

前記第 1 無線通信手段を用いて第一のジョブデータを前記情報処理装置に送信する送信工程と、

前記送信工程で前記第一のジョブデータを送信したことに応じて、自動で前記第 1 無線通信手段での前記第一の無線接続を切断する切断工程と、

前記切断工程により前記第一の無線接続を切断した後、第二のジョブデータの送信指示を受けた場合、所定の条件を満たすか判断する判断工程と、

前記判断工程で前記所定の条件を満たすと判断した場合、前記記憶工程で記憶した前記無線接続情報を用いて、自動で前記第 1 無線通信手段での無線接続を行う第二の接続工程と、

を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

前記所定の条件は、

前記第一のジョブデータ送信対象の情報処理装置と、前記第二のジョブデータ送信対象の情報処理装置が同じであること、

前記端末で動作している前記プログラムに対応したソフトウェアがフォアグラウンドの

10

20

30

40

50

ままであること、

前記切断工程で前記第一の無線接続が切断されてからの時間が一定時間内であること、
の少なくとも１つを含む

ことを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項３】

前記所定の条件は、

前記第一のジョブデータ送信対象の情報処理装置と、前記第二のジョブデータ送信対象
の情報処理装置が同じである

ことを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項４】

前記所定の条件は、

前記端末で動作している前記プログラムに対応したソフトウェアがフォアグラウンドの
ままである

ことを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項５】

前記所定の条件は、

前記切断工程で前記第一の無線接続が切断されてからの時間が一定時間内である

ことを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項６】

前記第２無線通信手段は、前記情報処理装置と近距離無線通信を行うための近距離無線通
信手段である

ことを特徴とする請求項１から５のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項７】

前記近距離無線通信手段はBluetooth、NFC(Near Field Co
mmunication)の少なくともいずれかで通信を行う

ことを特徴とする請求項６に記載のプログラム。

【請求項８】

前記端末は２次元コードを読み込む読み込み手段をさらに有し、

前記読み込み手段で前記情報処理装置に表示された２次元コードを読み込むことで、前
記取得工程では前記無線接続情報を前記情報処理装置から取得する

ことを特徴とする請求項１から７のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項９】

前記判断工程で前記所定の条件を満たさないと判断した場合、前記第二の接続工程では
自動で前記第１無線通信手段での無線接続を行わない

ことを特徴とする請求項１から８のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項１０】

前記無線接続情報は、アクセスポイントに関する情報と、当該アクセスポイントの種類
を示す情報とを含む

ことを特徴とする請求項１から９のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項１１】

前記判断工程で前記所定の条件を満たすと判断した後に、前記アクセスポイントが起動
されていない場合、アクセスポイントの起動を促すメッセージを表示する

ことを特徴とする請求項１０に記載のプログラム。

【請求項１２】

前記第一のジョブデータと前記第二のジョブデータは、前記情報処理装置に対して印刷
処理を実行するように指示するためのデータである

ことを特徴とする請求項１から１１のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項１３】

前記情報処理装置は画像形成装置である

ことを特徴とする請求項１から１２のいずれか一項に記載のプログラム。

10

20

30

40

50

【請求項 14】

前記制御方法は、前記無線通信手段での前記第一のジョブデータを送信する指示を受け付けるための画面で、前記情報処理装置の情報が示された第一の画面を表示部に表示する第一の表示工程をさらに有し、

前記第一の画面で前記第一のジョブデータを送信する指示を受け付けると、前記送信工程で前記無線通信手段によって前記第一のジョブデータを前記情報処理装置に送信することを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 15】

前記制御方法は、前記切断工程で前記無線接続を切断すると、ジョブデータに含まれる送信対象のファイルを選択するための第二の画面を前記表示部に表示する第二の表示工程をさらに有する、

ことを特徴とする請求項 14 に記載のプログラム。

【請求項 16】

前記制御方法は、前記切断工程で前記無線接続を切断した後、前記第二のジョブデータを送信する指示を受け付けるための画面で、前記情報処理装置の情報が示された

第三の画面を前記表示部に表示する第三の表示工程を有し、

前記第三の画面で前記第二のジョブデータを送信する指示を受け付けると前記無線通信手段により前記第二のジョブデータを前記情報処理装置に送信する

ことを特徴とする請求項 15 に記載のプログラム。

【請求項 17】

前記端末は、前記情報処理装置以外の情報処理装置と無線接続を行うための無線接続情報を複数さらに記憶しており、

前記制御方法は、前記第二のジョブデータの送信指示を受け付ける時に、当該情報処理装置以外の情報処理装置を前記第二のジョブデータの送信先としていた場合、前記判断工程では前記所定の条件を満たさないと判断し、前記第二の無線接続を行わない。

ことを特徴とする請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載のプログラム。

【請求項 18】

情報処理装置と Wi-Fi で無線通信を行うための第 1 無線通信手段と、前記情報処理装置と Wi-Fi と異なる通信方式で無線通信を行うための第 2 無線通信手段を備える端末が実行する制御方法であって、

前記無線通信手段での無線接続を行うための無線接続情報を前記第 2 無線通信手段により前記情報処理装置から取得する取得工程と、

前記取得工程で取得した前記無線接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間で前記第 1 無線通信手段での無線接続を行う第一の接続工程と、

前記取得工程で取得した前記無線接続情報を記憶する記憶工程と、

前記第 1 無線通信手段を用いて第一のジョブデータを前記情報処理装置に送信する送信工程と、

前記送信工程で前記第一のジョブデータを送信したことに応じて、自動で前記第 1 無線通信手段での前記第一の無線接続を切断する切断工程と、

前記切断工程により前記第一の無線接続を切断した後、第二のジョブデータの送信指示を受けた場合、所定の条件を満たすか判断する判断工程と、

前記判断工程で前記所定の条件を満たすと判断した場合、前記記憶工程で記憶した前記無線接続情報を用いて、自動で前記第 1 無線通信手段での無線接続を行う第二の接続工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 19】

情報処理装置と Wi-Fi で無線通信を行うための第 1 無線通信手段と、前記情報処理装置と Wi-Fi と異なる通信方式で無線通信を行うための第 2 無線通信手段を備える端末であって、

前記無線通信手段での無線接続を行うための無線接続情報を前記第 2 無線通信手段によ

10

20

30

40

50

り前記情報処理装置から取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した前記無線接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間で前記第1無線通信手段での無線接続を行う第一の接続手段と、

前記取得手段で取得した前記無線接続情報を記憶する記憶手段と、

前記第1無線通信手段を用いて第一のジョブデータを前記情報処理装置に送信する送信手段と、

前記送信手段で前記第一のジョブデータを送信したしたことに応じて、自動で前記第1無線通信手段での前記第一の無線接続を切断する切断手段と、

前記切断手段により前記第一の無線接続を切断した後、第二のジョブデータの送信指示を受けた場合、所定の条件を満たすか判断する判断手段と、

前記判断手段で前記所定の条件を満たすと判断した場合、前記記憶手段で記憶した前記無線接続情報を用いて、自動で前記第1無線通信手段での無線接続を行う第二の接続手段と、

を有することを特徴とする端末。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明の端末は、情報処理装置とWi-Fiで無線通信を行うための第1無線通信手段と、前記情報処理装置とWi-Fiと異なる通信方式で無線通信を行うための第2無線通信手段を備える端末であって、前記無線通信手段での無線接続を行うための無線接続情報を前記第2無線通信手段により前記情報処理装置から取得する取得手段と、前記取得手段で取得した前記無線接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間で前記第1無線通信手段での無線接続を行う第一の接続手段と、前記取得手段で取得した前記無線接続情報を記憶する記憶手段と、前記第1無線通信手段を用いて第一のジョブデータを前記情報処理装置に送信する送信手段と、前記送信手段で前記第一のジョブデータを送信したしたことに応じて、自動で前記第1無線通信手段での前記第一の無線接続を切断する切断手段と、前記切断手段により前記第一の無線接続を切断した後、第二のジョブデータの送信指示を受けた場合、所定の条件を満たすか判断する判断手段と、前記判断手段で前記所定の条件を満たすと判断した場合、前記記憶手段で記憶した前記無線接続情報を用いて、自動で前記第1無線通信手段での無線接続を行う第二の接続手段と、を有することを特徴とする。

10

20

30

40

50